

続・激変する安曇野生きもの事情

地球温暖化やグローバルズムにより、見たことのない外来種や南方種が飛来し、いつの間にか私たちの身近に生息する…。そんな光景が当たり前の時代になってきました。一方で私たちの暮らしと共にあった生きものたちが急速に姿を消しています。この大きな変化は私たちの暮らしと無縁ではありません。

昨年に引き続き、様変わりする安曇野の自然とどう向き合ったらよいか、一緒に考えてみましょう。



今年の5月中旬、南方種で国内最大テントウムシ、ハラグロオオテントウが中信地方で初めて確認されました



- 日時 令和8年7月8日(水)
午前10時～11時30分
- 場所 三郷公民館講義室
- 講師 那須野 雅好さん
(安曇野オオルリシジミ保護対策会議代表)
(市生物多様性アドバイザー)
- 持ち物 なし
- 申込 6月29日(月)から
電話申込で
- 参加費 不要
- 定員 50人(先着順)

問い合わせ先
三郷公民館
電話 77-2109